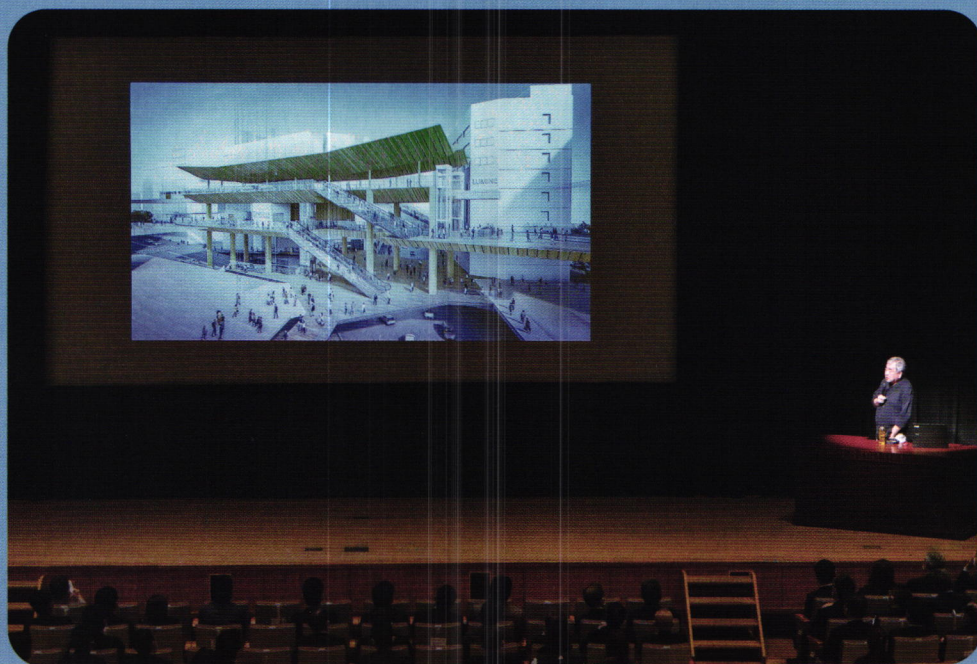


# 隈研吾氏講演会

## 「モノレールと町田のまちづくり」

主催 町田商工会議所 都市整備・まちづくり委員会  
後援 町田市 多摩都市モノレール町田方面延伸促進協議会  
協力 モノレールジャパンウェブサイト



# 町田

# 7

2023

# 特集号



講演会については  
Youtube にて動画  
公開中です。  
下記URLまたは  
二次元バーコード  
よりご視聴ください。  
<https://www.youtube.com/watch?v=8m5sQhSYx04>

隈研吾 事務所製作

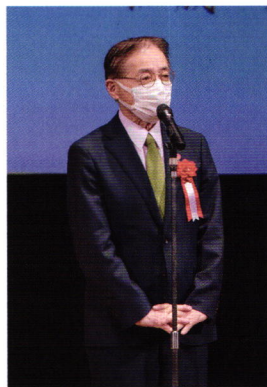
# モノレール町田未来駅（案）



多摩都市モノレールの多摩センターから町田間の延伸は、町田市内の交通利便性を向上させるとともに、多摩地域における交通ネットワークの充実に資する、極めて重要な路線であり、一日も早い事業化に向けた動きが必要である。令和4年1月には町田方面延伸選定ルートが公表され、早期事業化に向けて大きく動き出した。当所都市整備・まちづくり委員会では、令和4年5月から早期開通に向けた請願署名活動を実施、町田市や自治会町内会連合会等の協力を得ながら署名活動を進めた結果、11月末日までに35,261筆の請願数が集まった。これを持ち、11月30日には東京都議会三宅都議会議長へ提出した。このような状況下、令和5年4月8日、町田市民ホールにて、町田市商工会議所主催による、建築家の隈研吾氏を招聘しての講演会「モノレールと町田のまちづくり」を開催した。



17時30分、講演会は開演した（来賓挨拶・来賓紹介時の1コマ）。



石坂丈一 市長



小倉将信 内閣府特命担当大臣

令和5年4月8日、当日の来場者数は773名。町田市民ホールは定員一杯に近い来場者を集め、文字通り熱気につつまれた。渋谷俊徳前委員長の司会により開会し、当所澤井宏行会頭による主催者挨拶と続き、石坂丈一市長、小倉将信 衆議院議員内閣府特命担当大臣よりそれぞれ挨拶を頂いた。また、小池百合子 東京都知事からのビデオメッセージが配信された。「多摩地域の南北を結ぶ基幹交通である多摩都市モノレールが町田方面へと延伸することで南北方向の拠点が結ばれ、多摩地域の活力や魅力はさらに向上する。これにより町田市がさらなる発展を遂げ、多摩地区が国内外の様々な人から愛されるその一翼を担っていただけることを、心より希望している。」（小池百合子東京都知事ビデオメッセージより）

プログラムは引き続き、建築家隈研吾氏による「モノレールと町田のまちづくり」をテーマとする講演会へと移行。講演会の最後は都市整備・まちづくり委員会が登壇し、江成委員長による謝辞で終了した。



石坂市長への実施報告（R5.5.23）



小池東京都知事、小磯都議への実施報告（R5.5.11）  
（写真左より江成委員長、澤井会頭、小池東京都知事、渋谷委員、小磯都議）

## ◆隈研吾氏講演会内容

### ～モノレールと町田のまちづくり～

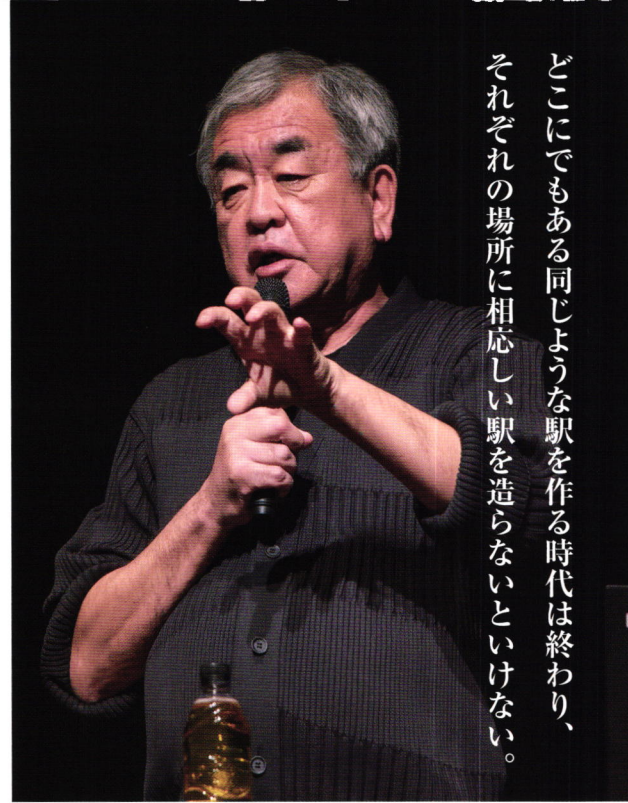
人類は住み方について、分散から集中という坂を登ってきた歴史がある。小さな集落がまちになり、それが大きくなって都市になり、最終的な集中の極致として超高層ビルができたが、これは人間に様々なストレスを与えた。

固定電話の時代は箱の中に人間を詰め込めばコミュニケーションも取れていいと思われたが、これは効率的ではなかった。それがインターネットと携帯の時代になると分散の方が効率よく仕事ができる、分散の方がストレスもなく仕事ができる、となった。そのためには自然に近いところ、町田のようなところで地域を大事にして仕事をするという住み方が非常に重要となり、世界中で集中から分散へという大きな転換が進んでいる。

どのように新しい分散型の街を作っていくか。一つの鍵になるのはモノレールのような公共交通機関、ローカルな公共交通機関で、利便性、環境そして地域にとっての軸の3つの大きな役割が注目されている。駅と線路がつくるネットワークが地域に安心をもたらす。地域の軸は地域の人たちの誇り、安心といった心の源であり、古い文化のある場所にはそのような軸がある。町田にも古い文化があり、歴史があり、軸があることによって繋がり、さらに輝きを増す。これらを示す都市の代表例として、私が関わったプロジェクトの中から、ローカルな公共交通機関が整備されている街をいくつか紹介する。

(フランス・ブザンソン、マルセイユ、南仏・エクサンプロバンス等の都市およびプロジェクトを紹介)

多摩都市モノレールの駅のイメージは、未来を感じられるような駅。駅というものの自身が地域のコアとしてハブとして見直される時代となった。その地域の個性をどう取り入れるかが重要で、町田の歴史、文化、あるいは町田の現代や未来の街並みを感じられる駅にする。どこにでもある同じような駅を作る時代は終わり、それぞれの場所に相応しい駅を造らないといけない。紹介した様々な都市のプロジェクトから新しい時代の地域のあり方についてのイメージを膨らまして頂きたい。今は時代の大きな転換点にきている。新しい時代の中で町田はとても面白いポジションにある。緑が近く、地形を感じられる町田のまちに新しいモノレールが来ることにより、地域の人達が新しい快適性や環境、そして繋がりをエンジョイできるものを目指す。今後も皆さんと一緒に考えていきたい。



どこにでもある同じような駅を作る時代は終わり、それぞれの場所に相応しい駅を造らないといけない。



澤井宏行 会頭（主催者挨拶）



都市整備・まちづくり委員会登壇



モノレール町田未来駅（案）模型



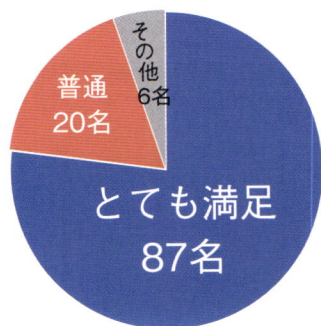
講演会後懇談会での1コマ



講演会後関係者との懇談会にて、今後のモノレールと町田のまちづくりについて意見交換を行なった。

## ◆講演会アンケート結果

※合計 117 件の回答



アンケートには自由記述欄（未来町田駅の利便性、デザイン、その他）を設け、延べ 195 件のコメントをいただいた。

以下抜粋にて記載

- あんな街なかに建つ構想だと思っていなかったのが非常にワクワクしました。
- モノレール駅がよく計画された位置に予定されていると感じました。素晴らしい都市計画ですね。
- 多摩地区の中心核の役割を担うことをより身近に感じる充実した良い機会を得られて、とても良かったです。
- 高級感のあるデザインで本当に素敵でした。
- 30年以上生まれ育った町田の未来にワクワクするという初めての体験をしました。
- 少しでも早く完成してほしいと感じました。

# 町田市・町田商工会議所の主な活動経緯

|       |                   |   |
|-------|-------------------|---|
| 2008年 | 10月               | 町田商工会議所 都市整備・まちづくり委員会で推進活動を正式に開始  |
| 2011年 | 4月                | 関係団体に「モノレール延伸推進の為の協議会」設立提言  |
| 2013年 | 2月                | 「多摩都市モノレール町田方面延伸協議会」設立  |
| 2014年 | 12月               | 「多摩都市モノレールを町田に呼ぼう」プロモーションDVD作成  |
| 2015年 | 1～2月<br>3月        | 署名活動を実施(目標10万人)<br>国土交通大臣に署名を提出(105,930人分)  |
| 2016年 | 4月                | 国土交通省の交通政策審議会がまとめた答申で、多摩都市モノレール町田方面延伸は、「事業化に向けて具体的な調整を進めるべき」とされ、これまでの検討段階から大きく前進  |
| 2018年 | 7～8月<br>8月<br>10月 | 「モノレールを町田に呼ぼう！キャッチフレーズ大募集キャンペーン」実施<br>町田市主催「まちだ〇ごと大作戦18-20」チャレンジ事業として参加<br>キャンペーン応募数654作品<br>忠生地区町内会自治会連合会により署名11,164筆を小池都知事に手渡し延伸促進を要請<br>貸切モノレール乗車会イベントを開催 112名乗車(多摩センター～上北台) |
| 2019年 | 10月<br>12月        | 町田市により「町田都市計画道路3・3・36号線の事業用地」先行取得<br>～多摩都市モノレール町田方面延伸加速化プロジェクト第1号～<br>「ALLまちだでモノレールを町田によぼう」展示会・セレモニー開催  |
| 2020年 | 10月               | 町田モノレール未来駅パース・模型を作成   |
| 2021年 | 10月               | 未来の乗せ 僕らのまちにモノレール 町田未来駅シンポジウム   |
| 2022年 | 11月               | 東京都議会への請願書(35,260名分)提出  |
| 2023年 | 3月<br>4月          | 上記請願書採択(東京都議会本会議)<br>隈 研吾氏による「モノレールと町田のまちづくり」講演会開催  |



2019年12月 展示会・セレモニー



2021年10月 未来駅シンポジウム



2022年11月30日 東京都議会への請願書提出

## 隈 研吾 氏 講演会 開催の経緯

この講演会を企画した渋谷俊徳です。開催への経緯を簡単に御説明致します。

4年前の2019年6月に、以前より「町田のまちづくり」に御関心の高かった隈研吾氏の建築都市設計事務所へ訪問。その後打合せを重ね講演依頼を御願い致しましたが、当時東京オリンピック・メインスタジアム(国立競技場)の設計に携り多忙を極めて居た隈研吾氏より「東京オリンピック後に！」との約束を頂き、昨年2022年5月に打合せを再開。講演会を殆ど受けない隈研吾氏より「2023年4月8日の講演(課題・モノレールと町田のまちづくり)」及び「モノレール町田駅未来図」(2022年11月完成)作成が決定され、念願の講演会実現に至りました。

当日2023年4月8日町田市民ホールは満席の方々と共に「オール町田でモノレール活動のキックオフ」に至った次第です。

その間、隈研吾事務所横尾実社長様始めとする事務所スタッフの皆様、町田市・東京都議会・諸団体関係者皆様の多大な御支援賜り厚く感謝申し上げます。

都市整備・まちづくり委員会 渋谷俊徳

